

## 日本語指導が必要な児童生徒が大幅に増加！

〈 日本語指導が必要な児童生徒の受入状況等に関する調査（平成30年度） ～文部科学省～ 〉

文部科学省は、日本語指導が必要な児童生徒の教育の改善充実に資するため、公立小・中・高等学校等における日本語指導が必要な児童生徒の受入状況等について調査を行い、9月27日、結果が公表された。

平成30年度「日本語指導が必要な児童生徒の受入状況等に関する調査」概要（全日教連要約・抜粋）

### 1 日本語指導が必要な外国籍の児童生徒数



### 2 日本語指導が必要な日本国籍の児童生徒数

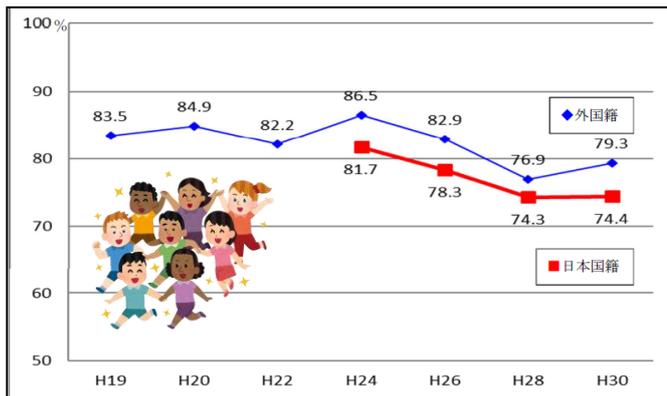


小・中だけでなく高校にも増えているね！

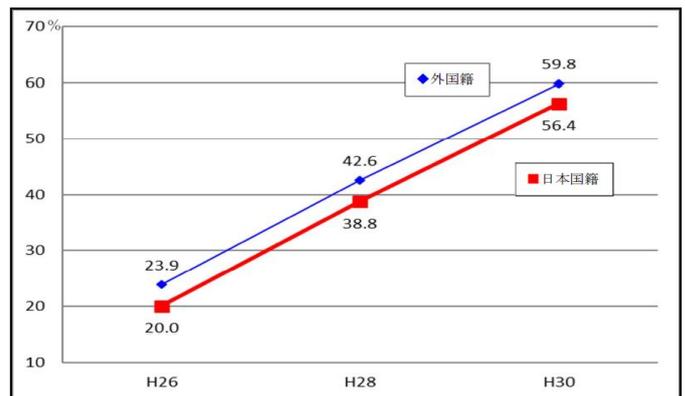
「特別な教育課程」での指導が増えているんだ！

学習指導だけでなく、文化の違い等を指導するのは大変だよ！

### 3 日本語指導が必要な児童生徒のうち日本語指導等特別な指導を受けている者の割合



### 4 3のうち「特別な教育課程」による日本語指導を受けている者の割合



※ 本調査の詳細については、右QRコードか下のURLより御確認ください  
[http://www.mext.go.jp/b\\_menu/houdou/31/09/icsFiles/afieldfile/2019/09/27/1421569\\_002.pdf](http://www.mext.go.jp/b_menu/houdou/31/09/icsFiles/afieldfile/2019/09/27/1421569_002.pdf)



このデータからは、外国籍児童生徒だけでなく、日本国籍を持つ児童生徒で日本語指導が必要な児童生徒も、近年増加していることがわかる。また、在籍する学級のみで指導を受ける児童生徒よりも、特別な教育課程による日本語指導を受けている児童生徒の割合が伸びている。

今後、入国管理法の改正等により、ますます外国人児童生徒の増加が予想される中、本年6月28日に「日本語教育の推進に関する法律（令和元年法律第48号）」が公布・施行され、「多様な文化を尊重した活力ある共生社会の実現・諸外国との交流の促進並びに友好関係の維持発展に寄与」するため、国内における日本語教育の機会の拡充や日本語教育の維持向上等の施策が進められている。また、これに伴い「外国人児童生徒等における教科用図書の使用上の困難の軽減に関する検討会議」が開催され、音声教材やデジタル教科書等について、検討が進められているところである。

全日教連としては、授業のみならず、生徒指導面や保護者対応等においても苦慮しているとの声が、会員から多く寄せられていることを踏まえ、外国人児童生徒指導教員の着実な定数への移行ならびに、日本語指導教員の加配定数の増員を文部科学省に求めるとともに、それに関わる教材整備等の教育環境の改善のために、これからも積極的に要望活動を展開していく。